

electro-harmonix

PLATFORM

Stereo Compressor/Limiter

Electro-Harmonix Platform ステレオ・コンプレッサー/リミッターをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。Platformは、柔軟でパワフルなスタジオ・クオリティのコンプレッサーをスタンボックスサイズにパッケージングしたペダルで、ギターやベース、キーボードといった様々な楽器の信号のボリュームを精密かつパワフルにコントロールすることが可能です。DriveとSwellをONにすればさらにサウンドを作り上げ強調させることもできます。ステージやスタジオ、ポッドキャストやYouTubeでの配信など、様々な場面でその効果を発揮します。

WARNING: PlatformにはElectro-Harmonix 9.6DC-200mAアダプターが付属します。Platformの消費電力は9VDCセンターマイナス/125mAです。間違ったアダプターを使用すると故障の原因となり、保証対象外となりますのでご注意ください。

FEATURES

- ・ ハイクオリティ・コンプレッサー/リミッター
- ・ 選択可能なハード/ソフト・ニー機能
- ・ 8セグメントのLEDゲインリダクション・メーター
- ・ ボリューム、トーン、ゲインコントロールを搭載したフットスイッチでの切替が可能なオーバードライブ
- ・ ボリューム・スウェル機能
- ・ ステレオ・イン/アウト
- ・ ステレオ・バッファードバイパス

仕様

- ・ インプット・インピーダンス 1M Ω
- ・ アウトプット・インピーダンス 300 Ω
- ・ 消費電流 : 125mA
- ・ 最大許容入力レベル : +7.2dBu

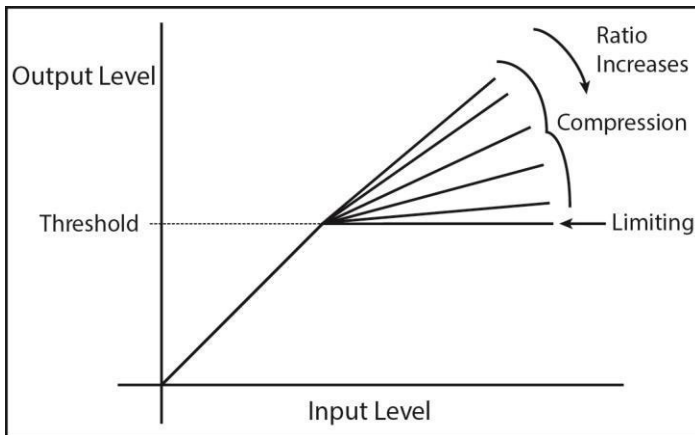
COMPRESSOR/LIMITER CONTROLS & INDICATORS

SUSTAIN ノブ

Compressorモード: コンプレッション・レシオ(圧縮率)を調整します。SUSTAINノブを時計回りに回すとコンプレッション・レシオが増加します。このレシオ(比率)は設定したスレッシュホールド値を超えた信号にどの程度コンプレッションを加えるかを決定します。スレッシュホールドは信号に対してコンプレッションが動作し始めるボリュームレベルです。コンプレッサー・モードでは、Platformのスレッシュホールド・レベルは-35dBに固定されています。

コンプレッション・レシオは信号レベルをコンプレッサーがどの程度圧縮し、強弱を平坦にするかを実際に決定します。レシオを高く設定すると信号レベルのピーク(山)やバリー(谷)をより減少させ、一定のアウトプット・ボリュームを生み出します。

RATIO DIAGRAM



Limitterモード: SUSTAINノブではスレッシュホールド・レベルを調整します。SUSTAINノブを時計回りに回すとスレッシュホールド・レベルが減少し、信号に対してより早くリミッターの力が働きます。リミッター・モード時コンプレッション・レシオは常に一定です。

ATTACK ノブ

ATTACKノブは、入力信号が設定したスレッシュホールド値に到達、もしくはオーバーした場合にコンプレッサー/リミッターがアクティブになるまでの時間を設定します。ATTACKノブを時計回りに回して設定値が高くなると、アタック・タイムが、長くなります。

アタック・タイムが遅いセッティングでは、最初のアタック音を強調してトーンに素晴らしいメリハリを加えます(ファンクやチキン・ピッキングでプレイするようなギタリストには素晴らしい機能です)。アタック・タイムが速いセッティングでは、最初のアタック音とともに音のサステイン成分も圧縮し、より均一なコンプレッションを生み出します。

RELEASE ノブ

コンプレッサー/リミッターはシグナルを処理した後、入力レベルが設定したスレッシュホールド値を下回ったときに処理を停止しますが、すぐには動作が止まる訳ではなくRELEASEノブで設定したリリースタイム後に停止します。ノブを時計回りに回すと、リリースタイムが長くなりコンプレッサーが停止するのが遅くなります。リリースタイムが遅い設定では、通常よりスムーズな効果で自然なより透明感のあるコンプレッションとなりますが、全体のアウトプット・ボリュームも減少します。リリースタイムが早い設定ではボリュームが大きくなり、不自然にレベルが変化する“パンピング”のような顕著なコンプレッション効果を得られます。

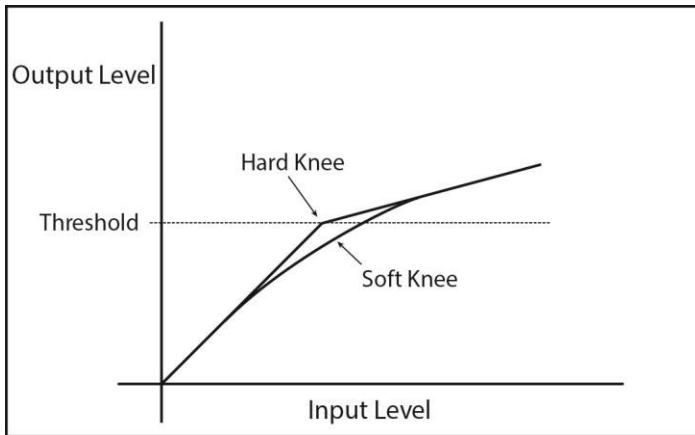
VOL ノブ[Main Output Level]

ペダル左上にあるこのコントロールは、ペダル全体のマスター・ボリュームです。このコントロールはバイパス時とエフェクトON時のレベルのバランスを取るのに使用します。

KNEE ボタン

KNEEボタンは、コンプレッション/リミッティング・カーブを変化させることでコンプレッサーのかかり具合に変化を加え透明感のあるコンプレッション効果を生み出します。KNEEボタンが点灯している時はソフト・ニーコンプレッションが可能で、その結果ソフトで繊細なコンプレッションが可能です。KNEEボタンが消灯している時はハード・ニーコンプレッションが動作し、劇的なコンプレッションが得られます。

KNEE DIAGRAM



HARD KNEE - より分かりやすいコンプレッションサウンドを求める楽器やプレイスタイルに推奨します。ほとんどのエフェクトペダルにはハード・ニーコンプレッションが採用されており、ギターやベース、ドラム、キーボードなどに最適です。

SOFT KNEE - デリケートな楽器や曲のフレーズなどに推奨します。ボーカルやストリングス、パッド、その他同様の楽器において、透明感のあるコンプレッションの使用が重要となる楽器に最適です。

LIMITER ボタン

LIMITERボタンを押すと、ボタンが緑色に点灯しリミッターがONになります。リミッターは、極めて高いレシオ(比率)で固定されたコンプレッサーですので、結果として信号レベルはスレッシュホルドの設定以上には増加しません。ATTACKノブを使用することでリミッターのアタック・タイムを調整できます。

KNEEとLIMITERボタンの状態(DRIVEスイッチも同様です)はフラッシュメモリーにセーブされ、Platformの電源が投入されればリストアされます。

バーグラフ LED

8つのゲイン・リダクションLEDは正確なゲイン・リダクション量をリアルタイムに表示します。LEDが多く点灯するほどより強いゲイン・リダクションが発生しており、各LEDは3dBのゲイン・リダクション毎に点灯/消灯します。緑色のLEDではコンプレッション/リミッティングの量は適切で、黄色のLEDでは強いコンプレッションがかかっている事を示します。赤色のLEDはコンプレッション量が最大であることを示します。

BYPASS フットスイッチ & LED

BYPASSスイッチを押すとバッファード・バイパスとエフェクトモードを切り替えます。ステータスLEDはBYPASSスイッチの上であり、点灯している時はエフェクトモードであることを示します。BYPASS時はペダル全体がバイパスされますが、内蔵のドライブ・セクション側のLEDは消灯しません。

DRIVE (OVERDRIVE) CONTROLS

DRIVE ノブ

このノブはオーバードライブ・セクションのインプットゲインをコントロールします。Driveを時計回りに回すとオーバードライブのサチュレーションが増加し、より激しいディストーションサウンドが得られます。低い設定値ではクリーン・ボリュームブースターとしても使用できます。

TONE ノブ

TONEノブはオーバードライブ・セクションのハイカット・フィルターのフリークエンシー・レスポンスを調整し、オーバードライブ・トーンの微調整を行うことができます。

VOL ノブ [Drive Level]

VOLノブはコントロール下段の列の左側に配置されており、ドライブ・セクションのアウトプット・ボリュームをコントロールします。ドライブON時とOFF時のアウトプット・ボリュームのバランス調整に使用します。

DRIVE フットスイッチ & LED

DRIVEフットスイッチはオーバードライブ・セクションのON/OFFを切り替えます。ドライブがONの時は、DRIVEフットスイッチ上のLEDが点灯します。DRIVEスイッチのON/OFFはOFFにする直前の状態が記憶され、電源投入時に同じ状態で起動します。KNEEとLIMITERボタンも同様に記憶されます。

注意：ドライブ・セクションを動作させるには、Platformがエフェクトモードである必要があります。ペダルがBYPASSモードのとき、ドライブ・セクションのみ動作させることはできません。

SWELL CONTROL

スウェル・アルゴリズムは、新しい信号がペダルに入力されることがトリガー(引き金)となります。通常のアタックの場合には、ゆっくりとフェードインするサウンドに変換されます。スウェル機能は、オーバードライブとコンプレッサーの後段、メイン・ボリュームの前段に配置されており、SWELLノブでコントロールします。スウェル・モードのギターやベース、シンセサイザー、オルガンといった素早いアタックと長いサステインをもった楽器に有効です。

SWELL ノブ

SWELLノブを時計回りに回すとフェードイン・タイムが増加します。0に設定した場合スウェル機能はバイパスされます。

SIGNAL FLOW/INPUT/OUTPUT/POWER

信号経路:

Input -> Compressor/Limiter -> Overdrive -> Swell -> Output

MONO/L INPUT ジャック — インスト/ラインレベルに対応した1/4" フォンのアンバランス・タイプのインプット・ジャックで、最大許容入力レベルは+7.2dBuです。楽器もしくは他のエフェクターのアウトプットからケーブルを接続します。1系統のみのインプットを使用する場合はMONO/Lインプットの使用を推奨します。インプット・インピーダンスは1MΩです。

R INPUT ジャック — インスト/ラインレベルに対応した1/4" モノアンバランスタイプのインプット・ジャックで、最大許容入力レベルは+7.2dBuです。楽器もしくは他のエフェクターのアウトプットからケーブルを接続します。MONO/Lインプットと併せてステレオ入力として使用します。インプット・インピーダンスは1MΩです。R INPUT端子を使用しない場合、MONO/L INPUTの信号はR INPUT端子にも接続されます。

MONO/L OUTPUT ジャック — 1/4"フォンのアンバランス・タイプのアウトプット・ジャックです。Leftアウトプット信号は、このジャックを通して送り出されます。バイパスモード時、Leftインプット・ジャックから入力されたドライ信号はMONO/L Outputジャックに送り出されます。アウトプット・インピーダンスはおおよそ300Ωです。

R OUTPUT ジャック — 1/4"フォンのアンバランス・タイプのアウトプット・ジャックです。Rightアウトプット信号は、このジャックを通して送り出されます。バイパスモード時、Rightインプット・ジャックから入力されたドライ信号はRight Outputジャックに送り出されます。Rightインプット・ジャックに何も接続されない場合は、Leftインプットからの信号がLとR両方のアウトプットから出力されます。アウトプット・インピーダンスはおおよそ300Ωです。

9V 電源ジャック

Platformのトップに配置されている9V DCジャックには9.6DC 200mA ACアダプターを接続して下さい。PlatformはDC9V センターマイナス/125mAで動作します。

MONO/STEREO OPERATION

MONO IN & OUT: Left In -> Left Out:

Platformをモノラルで使用する場合はLeftインプットとLeftアウトプットをご使用ください。

MONO IN, STEREO OUT: Left In -> Left Out & Right Out:

LeftインプットとLeft/Rightアウトプットを接続します。Left/Rightアウトプットは両方とも同じ信号が出力されます。

STEREO IN, STEREO OUT: Left In & Right In -> Left Out & Right Out:

左右のオーディオ信号は、コンプレッサー/リミッター、オーバードライブ、スウェルの各エフェクトブロックをL/Rセパレートした状態を保ったまま通過します。コンプレッサーのサイドチェーン(コンプレッサーのゲイン・リダクションをコントロールする信号経路)は、左右のインプット信号を合わせて、コンプレッサーをコントロールする1つのバランスタイプのモノラル信号としてコントロールします。サイドチェーンは均一にLeft/Rightのゲインコントロールを行うため、左右のインプット信号が突然変化したとしてもステレオバランスは崩れません。

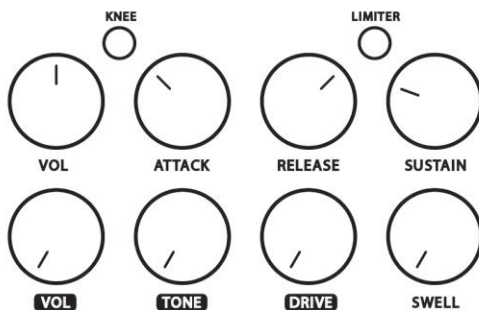
注意: スウェルはLeft/Rightインプットによる信号の完全な分離状態を保つため、お互いに独立したトリガーによってフェードインが動作します。

TIPS AND TRICKS

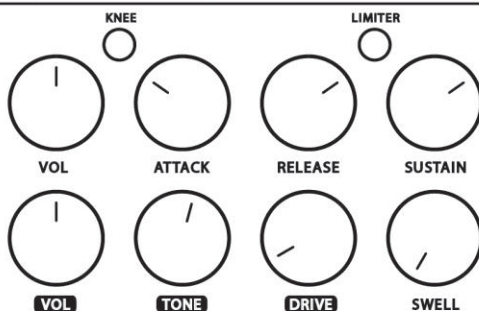
1. ギターペダルとして使用する場合、エフェクトチェーンにおけるインプットに近い方がコンプレッサーの伝統的なパフォーマンスとしてベストとされているのでディストーション・ペダルの前に配置するのが一般的ですが、あくまで一般的な使用例となりますので自身のエフェクトチェーンの様々なポジションでお試しいただき、お好みのポジションを見つけてください。
2. COMPRESSORモードにおいて、SUSTAINを最大にしてもそれ以上のコンプレッションが必要なのであればLIMITERモードに切り替えてください。
3. パンピングが発生し解消したい場合は、以下の設定を順番どおりに試して下さい。
 - ・ RELEASEの設定を上げます。
 - ・ ATTACKの設定を下げます。
 - ・ SUSTAINの設定を下げます。
4. アタック時にクリッキングや過度なポップ音が発生した場合は、以下の設定を順番どおりに試して下さい。
 - ・ ATTACKの設定を下げます。
 - ・ RELEASEの設定を上げます。
 - ・ SUSTAINの設定を下げます。
5. ドライブ・セクションは、クリーンボリューム・ブーストとして使用する場合には、DRIVEノブを9時以下、DRIVE VOLノブを2時もしくはそれ以上に設定し、トーンはお好みで設定してください。

PLATFORM サンプルセッティング

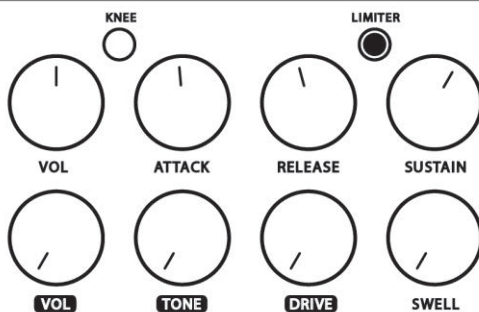
1. Mild Compression Drive = OFF



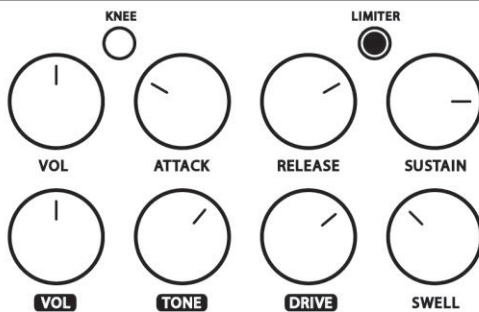
2. Warm OD Drive = ON



3. Chicken Pickin' Drive = OFF



4. Backward Swell Drive = ON





——— 正規輸入代理店 ———

株式会社 キョーリツコーポレーション

〒468-0002

愛知県名古屋市長白区焼山 1 丁目 813 番地

E-MAIL : support@kyoritsu-group.co.jp